

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岡山商科大学専門学校
設置者名	学校法人 吉備学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	トラベル観光学科	夜・通信	1,920	160	
	まんが・ネットショップ学科	夜・通信	2,100	160	
	事務職養成学科	夜・通信	910	160	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

http://www.osu-s.ac.jp/guide/public/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡山商科大学専門学校
設置者名	学校法人 吉備学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公表方法：大学ホームページで公表（学園の概要） https://www.osu.ac.jp/annai/guide/status/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 (部長待遇) (常務取締役)	H28年6月1日 ～ R2年3月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	税理士法人 (代表社員)	H30年4月1日 ～ R4年3月31日	財政面での運営体制 へのチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山商科大学専門学校
設置者名	学校法人 吉備学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>														
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>2019年度シラバス作成過程。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年1月8日～1月25日 シラバス作成。 <p>項目①授業の方法②授業目標(授業内容)③到達目標④授業計画⑤成績評価の方法・基準⑥実務経験がある教員かどうかの有無⑦教科書等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年1月28日～2月15日 シラバスチェック。 <p>修正が必要な場合は、教頭から該当教員に指示、修正。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年7月中に、2019年度シラバス公開予定(本校ホームページ)。 														
授業計画書の公表方法	http://www.osu-s.ac.jp/guide/public/													
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>														
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各教員が各学生の成績を決定し、学則に従い、100点をもって満点、60点以上を合格として評価している。</p> <p>成績評価の基準は次の通りである。</p> <table border="1" data-bbox="497 1310 1112 1500"> <thead> <tr> <th>点数</th> <th>評価</th> <th>合否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100点～80点</td> <td>A</td> <td rowspan="3">合格</td> </tr> <tr> <td>79点～70点</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>69点～60点</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>59点以下</td> <td>D</td> <td>不合格</td> </tr> </tbody> </table>		点数	評価	合否	100点～80点	A	合格	79点～70点	B	69点～60点	C	59点以下	D	不合格
点数	評価	合否												
100点～80点	A	合格												
79点～70点	B													
69点～60点	C													
59点以下	D	不合格												
<p>【シラバスの該当部分の例】</p> <p>本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。</p> <p>①出席点 40点※40×出席率</p> <p>②学習状況 30点※学習状況に応じて(0、5、10、15、20、30点)</p> <p>③期末考査 30点※100点計算は30点満点に再変換(0、5、10、15、20、25、30点)</p>														

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○平成 30 年度</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2">客観的な指標の算出方法</td> </tr> <tr> <td colspan="2">履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100 点満点で点数化)</td> </tr> </table>		客観的な指標の算出方法		履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100 点満点で点数化)	
客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する(100 点満点で点数化)					
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.osu-s.ac.jp/guide/public/				
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>卒業要件は、修業年限の期間中において、履修すべき授業科目の全てが単位認定された場合、卒業条件が認められる。</p> <p>ただし、在学期間中に単位取得できなかった履修科目が3以下の場合、卒業判定会議で審議される。</p> <p>修業年限の期間中、卒業に必要な諸条件を満たした者に学校長が卒業を認める。</p>					
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.osu-s.ac.jp/guide/public/				

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岡山商科大学専門学校
設置者名	学校法人 吉備学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.osu.ac.jp/annai/guide/finance/
収支計算書又は損益計算書	同 上
財産目録	同 上
事業報告書	同 上
監事による監査報告（書）	同 上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務専門課程	トラベル観光学科	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 2,100 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼		1,750 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	350 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
		2,100 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	13人	0人	2人	7人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各シラバス参照
成績評価の基準・方法
（概要） 例：本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ①出席点 40点※40×出席率 ②学習状況 30点※学習状況に応じて（0、5、10、15、20、30点） ③期末考査 30点※100点計算は30点満点に再変換（0、5、10、15、20、25、30点）
卒業・進級の認定基準
（概要） ・進級：当該学年で実出席時間の2/3以上の出席があり、且つ履修すべき授業科目のすべてが単位認定された場合。ただし、在学期間中に単位取得できなかった履修科目が3以下の場合は進級判定会議の審議結果によって仮進級が認められる場合がある。 ・卒業：修業年限の期間中において、履修すべき授業科目のすべてが単位認定された場合。ただし、在学期間中に単位取得できなかった履修科目が3以下の場合、卒業判定会議で審議される。修業年限の期間中、卒業に必要な諸条件を満たした者に学校長が卒業を認める。

学修支援等
(概要)
①学内奨学金制度→成績優秀、出席率・提出物などが良好で学則に違反がないなどの場合、年間 60,000 円の奨学金を支給する。(AO入試・指定校推薦・特別指定校推薦での入学者のみが対象)
②宿舍補助制度→遠隔地のため自宅通勤が困難な学生に宿舍補助として、年間 120,000 円を支給する。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	2 人 (20.0%)	6 人 (60.0%)	2 人 (20.0%)
(主な就職、業界等)			
・地元企業の ANA クラウンプラザホテル岡山、(株) KG 情報、(株) 山陽マルナカのほか、県外企業の (株) フジ・トラベル・サービス、(株) フジテレコムズへ就職している。			
(就職指導内容)			
・学内での業界や企業に関する知見を深める就職セミナー、会社説明会の開催やハローワークの個別相談等への積極的参加を学生に促すなどの就職指導を行っている。			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
・国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者の国家資格や Word、Excel、PowerPoint、Access 技能検定などの資格を取得している。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	1 人	7.7%
(中途退学の主な理由)		
・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
・学生と学生生活等の悩みの相談をするなど、コミュニケーションを密にしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程	まんが・ネットショップ学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	2,100 単位時間/単位	245 単位時間 /単位	315 単位時間 /単位	1,540 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,100 単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人		10人	0人	2人	7人	9人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 各シラバス参照
成績評価の基準・方法
(概要) 例：本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ①出席点 40点※40×出席率 ②学習状況 30点※学習状況に応じて(0、5、10、15、20、30点) ③期末考査 30点※100点計算は30点満点に再変換(0、5、10、15、20、25、30点)
卒業・進級の認定基準
(概要) ・進級：当該学年で実出席時間の2/3以上の出席があり、且つ履修すべき授業科目のすべてが単位認定された場合。ただし、在学期間中に単位取得できなかった履修科目が3以下の場合には進級判定会議の審議結果によって仮進級が認められる場合がある。 ・卒業：修業年限の期間中において、履修すべき授業科目の全てが単位認定された場合。ただし、在学期間中に単位取得できなかった履修科目が3以下の場合、卒業判定会議で審議される。修業年限の期間中、卒業に必要な諸条件を満たした者に学校長が卒業を認める。
学修支援等
(概要) ①学内奨学金制度→成績優秀、出席率・提出物などが良好で学則に違反がないなどの場合、年間60,000円の奨学金を支給する。(AO入試・指定校推薦・特別指定校推薦での入学者のみが対象) ②宿舍補助制度→遠隔地のため自宅通勤が困難な学生に宿舍補助として、年間120,000円を支給する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0.0%)	1人 (33.3%)	2人 (66.7%)
(主な就職、業界等) ・地元企業の（有）アート建装へ就職している。			
(就職指導内容) ・学内での業界や企業に関する知見を深める就職セミナー、会社説明会の開催やハローワークの個別相談等への積極的参加を学生に促すなどの就職指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) ・Webクリエイター、Photoshopクリエイター、Illustratorクリエイター能力検定や、Word、Excel、PowerPoint、Access 技能検定などの資格を取得している。			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10人	1人	10.0%
(中途退学の主な理由) ・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・学生と学生生活等の悩みの相談をするなど、コミュニケーションを密にしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門課程	事務職養成学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,100 単位時間/単位	1,610 単位時間 /単位	140 単位時間 /単位	350 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2,100 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		6人	0人	2人	9人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 各シラバス参照
成績評価の基準・方法
(概要) 例：本校の規定に基づき、次の割合で総合的に評価する。 ①出席点 40点※40×出席率 ②学習状況 30点※学習状況に応じて (0、5、10、15、20、30点) ③期末考査 30点※100点計算は30点満点に再変換 (0、5、10、15、20、25、30点)
卒業・進級の認定基準
(概要) ・進級：当該学年で実出席時間の2/3以上の出席があり、且つ履修すべき授業科目のすべてが単位認定された場合。ただし、在学期間中に単位取得できなかった履修科目が3以下の場合には進級判定会議の審議結果によって仮進級が認められる場合がある。 ・卒業：修業年限の期間中において、履修すべき授業科目の全てが単位認定された場合。ただし、在学期間中に単位取得できなかった履修科目が3以下の場合、卒業判定会議で審議される。修業年限の期間中、卒業に必要な諸条件を満たした者に学校長が卒業を認める。
学修支援等
(概要) ①学内奨学金制度→成績優秀、出席率・提出物などが良好で学則に違反がないなどの場合、年間60,000円の奨学金を支給する。(AO入試・指定校推薦・特別指定校推薦での入学者のみが対象) ②宿舍補助制度→遠隔地のため自宅通勤が困難な学生に宿舍補助として、年間120,000円を支給する。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0.0%)	1人 (25.0%)	3人 (75.0%)
（主な就職、業界等） ・ 県外企業の（株）日本レンタカー中国へ就職している。			
（就職指導内容） ・ 学内での業界や企業に関する知見を深める就職セミナー、会社説明会の開催やハローワークの個別相談等への積極的参加を学生に促すなどの就職指導を行っている。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・ ファイナンシャル・プランニング技能士の国家資格や日商簿記検定2級、販売士3級資格、Word、Excel、PowerPoint、Access 技能検定の資格を取得している。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） ・		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・ 学生と学生生活等の悩みの相談をするなど、コミュニケーションを密にしている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
トラベル観光	150,000 円	450,000 円	200,000 円	施設整備費、教育充実費
まんが・ネットショップ	150,000 円	450,000 円	200,000 円	〃
事務職養成	150,000 円	450,000 円	200,000 円	〃
キャリアアップ	75,000 円	450,000 円	200,000 円	〃
大学編入	150,000 円	450,000 円	200,000 円	〃
キャリア専攻	0 円	300,000 円	200,000 円	〃
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・特待生入試 (専願・推薦) での入学者：特待生 A → 1 年次授業料全額免除 特待生 B → 1 年次授業料半額免除 ・指定校推薦入試での入学者 → ①入学金半額免除②入学検定料 10,000 円免除③2 年次は 学内奨学金 (60,000 円/年) の選考対象 ・特別指定校推薦入試での入学者 → ①入学金全額免除②入学検定料 10,000 円免除③2 年 次は学内奨学金 (60,000 円/年) の選考対象 ・AO入試 (専願) での入学者 → ①入学検定料免除②1 年次から学内奨学金 (60,000 円 /年) の選考対象 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.osu-s.ac.jp/guide/public/ ※2019 年度の評価結果を 2020 年 6 月末までにホームページで公表する。
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
岡山商科大学専門学校 学校関係者評価委員会規定
(目的) 第 1 条 岡山商科大学専門学校 (以下「本校」という) が行った自己評価の結果を評価し、 その客観性や透明性を高めるとともに改善方策等について助言を得て、学校運営や 教育活動を改善するため学校関係者評価委員会を置く。
(役割) 第 2 条 評価委員は、学校が提出した自己評価報告書、参照資料、意見交換に基づき評価 を行う。 (1) 評価項目は、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育 環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献、国際交流と する。 (2) 校長は、年度末に評価結果を踏まえて改善方策を策定する。
(委員) 第 3 条 評価委員は、5 名以内とする。 (1) 評価委員は、企業関係者、卒業生、保護者、地域関係者、学校法人等から校長が委嘱 する。 (2) 評価委員の任期は、原則として 1 年とする。ただし、再任は妨げない。

<p>(会議)</p> <p>第4条 評価委員会を年2回開催する。</p> <p>(1) 評価委員会は、校長が招集する。</p> <p>(2) 評価委員会には、校長が指名する本校職員が出席することができる。</p> <p>(その他)</p> <p>第5条 評価結果はホームページで公表するものとする。</p> <p>第6条 この規定に定めるものの他必要な事項は、校長が評価委員に諮って定める。</p> <p>附 則</p> <p>この規定は、2019年4月1日から施行する。</p>																				
<p>学校関係者評価の委員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体役員</td> <td>1年</td> <td>企業</td> </tr> <tr> <td>会社員</td> <td>1年</td> <td>卒業生</td> </tr> <tr> <td>会社員</td> <td>1年</td> <td>保護者</td> </tr> <tr> <td>地域団体役員</td> <td>1年</td> <td>地域関係者</td> </tr> <tr> <td>法人役員</td> <td>1年</td> <td>学校法人</td> </tr> </tbody> </table>			所属	任期	種別	団体役員	1年	企業	会社員	1年	卒業生	会社員	1年	保護者	地域団体役員	1年	地域関係者	法人役員	1年	学校法人
所属	任期	種別																		
団体役員	1年	企業																		
会社員	1年	卒業生																		
会社員	1年	保護者																		
地域団体役員	1年	地域関係者																		
法人役員	1年	学校法人																		
<p>学校関係者評価結果の公表方法</p> <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>http://www.osu-s.ac.jp/guide/public/</p> <p>※2019年度の評価結果を2020年6月末までにホームページで公表する。</p>																				
<p>第三者による学校評価 (任意記載事項)</p>																				

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>http://www.osu-s.ac.jp</p>
